2026 年 12 月期 第 3 四半期決算説明会 質疑応答の要約

2026 年 11 月 13 日に開催した決算説明会において、参加者の皆様からいただいたご質問について、当日回答しきれなかった分を含めまとめたものです。GMO インターネット 代表取締役 社長執行役員の伊藤、並びに担当役員より回答させていただきました。なお、一部 IR 部門にてご質問および回答を付記・補足しております。

【業績関連・不正アクセス影響関連】

【Q1】 不正アクセス影響コストが一旦 30.5 億円となったわけだが、ネットキャッシュには余裕があるとみてよいのか。バランスシートをみてもネットキャッシュもあり、エクイティもある程度あるので大丈夫かとは思うが、企業再編の最中でもあり、GPU クラウド事業での買付計画もあるため余力を確認しておきたい。

【A1】（吉田）財務担当 現時点では今後の投資を含めても余力はあると考えております。GPU クラウド事業への投資は今後も続いていくため、借入やオフバランスなど、様々な選択肢を視野に入れた BS 戦略を検討します。

【Q2】 金融機関など、クレジット・ローン側の方々は今回の件をどう受け止めているのか。今回の件を踏まえて調達コストは上がらないのか。

【A2】（伊藤） 銀行の方々にはありがたいことにサポートしていただけると言っていただいております。今のところは調達に影響することはありません。これに甘んじないように我々のほうで信頼回復を続けていきます。信用リスクが変わるということは今のところ発生しておりません。

【Q3】 インシデントによる影響に関し、2026 年 10 月以降のものを教えてほしい。対象サービス以外にも解約が出ているものと想像できる。セグメント別のユーザー動向を教えてほしい。

【A3】（伊藤） お名前.com デスクトップクラウドはサービスを停止しているため、四半期で約 3 億円程度売上が減ります。ドメインやその他レンタルサーバーもセキュリティの再チェックという観点から本日までサービスの新規受付を停止していたため、その分入会が減っています。GPU クラウド事業に関しては受注・解約・営業状況に大きな変化はありませ

ん。インターネット接続（プロバイダー）サービスに関しては基本的に広告をベースに集客をしているので、本件を受けて広告を止めた影響によりで入会数の減少が見られました。
広告事業に関しては世の中全般のサイバーセキュリティ問題によりクライアントの一部でも広告を停止している影響、また本件を受け GMO インターネットグループ全体で広告を停止した影響があります。

【Q4】　レンタルサーバーというビジネスはお客様からいただいている単価以上に重要なデータを扱っていて、また古くから提供している歴史のあるサービスも存在するため、リスク・リワードのバランスがセキュリティインシデントの増加傾向を考えると悪くなっていると思う。再発防止策を含めた事業ポートフォリオの考え方を教えてほしい。

【A4】（伊藤）　セキュリティに関するリスクが何倍にも高まっているのは事実です。チェック体制をさらに整えなければならないと考えております。細かな隙をつかれるケースが増えてくるため、セキュリティ診断は定期的に実施しています。ご指摘のとおり古いサービスもあり、こうしたサービスには根本的な改修が難しい箇所もありますので、抜本的な見直しが必要です。内部では多くのアイデアが出ていますが、現状はまだ目先の緊急対策が優先となっております。間違いなく見直しは進めていきます。状況に応じてセキュリティに対してコストをかけていきます。

【Q5】　足元、他のレンタルサーバーサービスで大きな問題は起こっていないのか。

【A5】（伊藤）　大きな問題は発生しておりません。

【Q6】　今回の件を受けてグループ全体でポートフォリオを整理するときに改めて考え方を公表してくれるということでよいか。

【A6】（伊藤）　GMO インターネット連結のなかで言うと、今回実施した GMO コマースをベースとした組織再編により、これまでとは違う成長を作れると考えています。また。GPU クラウド事業が順調に伸ばせている状況であるため、そこが伸びているあいだに既存事業の問題点を改善していく考えです。インターネットインフラサービスは世の中に必要なサービスですので社会的責任があり、もちろん見直しは続けていきますが、サービスを止めるという考えではなく、安心して使っていただけるサービス作りに注力していきます。

【Q7】　現在はセキュリティ面で対応中だと思うが、もう少し落ち着いた際に今回のインシデン

ト踏まえたセキュリティ対策を解説する想定はあるか。

【A7】（伊藤） 社外取締役を中心に委員会の組成やセキュリティを含めたガバナンス強化を検討しておりますので、正式に決まりましたら説明の機会を作っていきたいと考えております。

【Q8】 2026 年 12 月期業績の会社計画修正は改めて精査して発表とのことだが、この精査のボトルネックはなにか。やはり不正アクセス影響の 30.5 億円の計上が不透明というところなのか、10 月以降のユーザー動向が不確定なところか。

【A8】（伊藤） 不正アクセス影響の 30.5 億円は 11/12 時点で締めて見通しが立ったところですが、この数値はあくまでも上限の概算となりますので、今後お客様の申請内容の確認を進めるなかで確定させていきます。それと今回の件にかかるシステム面の調査や捜査に必要なコストが未確定の状況です。早い段階で業績見通しを発表させていただきたいと考えております。

【Q9】 ドメイン・レンタルサーバーセグメントの 2026 年第 2 四半期から第 3 四半期の増収要因はなにか。GPU クラウド事業の貢献度はどの程度か。第 3 四半期で GPU サーバーの台数は増えておらず、第 2 四半期時点で高稼働率であったため、GPU クラウド事業だけでみるとそれほど伸びていないイメージだが合っているか。

【A9】（伊藤） 仰る通り、GPU クラウド事業は第 2 四半期時点で高稼働であったため、第 2 四半期から第 3 四半期の売上推移としては横ばいです。増収要因はドメインの件数が伸びたことと、ドメインの販売件数に伴ってレジストリからのインセンティブによるものです。

【GMO GPU クラウド関連】

【Q10】 GPU クラウド事業の投資計画を B300 から Rubin に変更するということは財務の余力を考えてのダウンサイジングなのか。それとも単純な顧客要望での変更なのか。

【A10】（伊藤） Rubin に関しては調達が見えてきたという点が一番大きい変更要因です。変わらず新しいチップへ投資していくという方針であるため、Rubin へのチャレンジを決めました。

【Q11】 GPU サーバーの稼働準備でコストが増加する理由はなにか。

【A11】（伊藤）　資産の償却は売上が発生するタイミングからのため、記載の準備コストには含まれません。GPU サーバーを稼働させる上で、データセンターの賃料・一部電気代等がコストとして発生します。なお、これまではコロケーションでラックまでの設備を借りていましたが、今回発表した追加投資からは建物・電気設備・空調が入った部屋のみを借りることとなり、それ以降の設計は我々で行うため、先行コストが発生する準備期間が長くなる見通しです。

【Q12】　データセンターの将来的なキャパシティに問題はないか。今後の継続投資に耐えうるものなのか。電力を確保できているのか。

【A12】（伊藤）　仰る通り、事業拡張とともにデータセンターを探していかなければなりません。Rubin に関しては新しく借りている石狩のデータセンターに置くことを考えています。借りられるデータセンターの選択肢は多くありません。円安、燃料価格の上昇から電気代の高騰にも繋がっているので、コストが見合ったデータセンターを探すのは難しい状況ではありますが、これまで様々な会社様にお声がけをしながら、条件にあったデータセンターを見つけられておりますし、今後も一切検討場所がないという状況ではございません。

以上